

# こんにちは

電気式人工喉頭ユアトーンII  
喉にあて、口と舌を動かすと  
声を出すことができます。  
(第65回北海道新聞文化賞経済部門)



初代ユアトーンは  
第2回ものづくり日本大賞優  
秀賞を受賞しています。



音声アプリ「ゆびで話そう」  
指で画面をなぞると、発声で  
きます。(平成25年度北海道新技術・  
新製品開発賞ものづくり部門優秀賞)

## 道表彰で優秀賞 株式会社 電制



開発本部長 須貝 保徳 (すがいやすのり) さん 数々の賞を前に。

## 不可能を可能にする 技術力とモノづくりへの想い

### 独自の発想力が光る企業「電制」

国内初の人工喉頭の開発で、発話出来なくなった人の「声」を取り戻してきた江別市の企業「電制」。高い技術力や発想力で数々の賞を受賞してきました。平成25年には、画面をなぞり会話できる音声アプリ「ゆびで話そう」を新開発し、北海道新技術・新製品開発賞ものづくり部門で大賞に次ぐ優秀賞に輝きました。

### 技術力と協力体制が開発のカギ

電制の主な製品は、電力施設や上下水道に関わる監視制御装置。一方で独自製品にもこだわり、開発したのが人工喉頭「ユアトーン」です。これは、のどに機械の先端をあて、発話したい音の形に口と舌を動かすと発声できるというもの。開発で指揮を執った開発本部長の須貝保徳さんは「初挑戦の分野だったので、最初は苦労しました。」と苦笑い。しかし大学や研究機関と協力し、これまで培ってきた高い技術力を駆使して7年をかけて開発。平成10年には第一号機を発売し、その後十数年にわたり改良を重ねてきました。

### 利用者の声を大事に

人工喉頭はこれまで外国製品しかなく、ユアトーンは国内利用者のニーズに応えた初の国産製品でした。「実生活に使うものなので、格好よさなどの要望も寄せられます。できるだけ叶えていきたい。」と須貝さん。実現した機能の中にはカラオケもあり、大変喜

ばれたというから驚きです。

「ゆびで話そう」も、ユアトーンでカバーできない発話障がいに対応してほしいという意見がヒントに。指操作で機械が発声するので、ろれつが回らないなどの症状を持つ方の利用が期待できます。

### 感謝の声を支えにこれからも

これらの商品は、まだまだ売上げが少ないそう。それでも開発に挑む理由には、寄せられる感謝の言葉があります。「生きた希望を持たせたい」そんな手紙をいただいたことがあります。必要として喜んでくれる人がいると嬉しいし、頑張れる。」と須貝さん。開発チームの想いには「人に感動を与える製品の開発」という経営理念が根底に感じられます。

須貝さんは「もつと人の声に近づけるなど、改良の余地はたくさん。日々進化させたい。」と開発意欲をにじませます。利用者の声を第一にし、不可能なことを可能にすることで、多くの人の喜びを作りだしてきた電制。これからも江別市の誇る企業として、人々に感動を与えていってください。

音声アプリ「ゆびで話そう」  
無料版を配信中!!  
うた遊びなどもできます♪  
スマートフォンのアプリストア  
にて「ゆびで話そう」で検索!

**DENCOM**  
DENSEI COMMUNICATION Inc.

株式会社 電制

工栄町 8-13 ☎ 380-2101(代表)  
1977(昭和52)年9月設立

## 国家公務員採用試験のお知らせ

- 総合職試験 (院卒者・大卒程度)  
インターネット申込期間: 4月1日(火) ~ 4月8日(火)
- 一般職試験 (大卒程度)  
インターネット申込期間: 4月9日(水) ~ 4月21日(月)
- 一般職試験 (高卒者・社会人)  
インターネット申込期間: 6月23日(月) ~ 7月2日(水)

【申込専用アドレス】  
<http://www.jinji-shiken.go.jp/juken.html>

【問い合わせ】  
人事院北海道事務局  
第二課試験係 ☎ 241-1248

